

平成25年度 第8回 教育研究評議会議事概要

日 時 平成25年8月7日(水) 10:00～11:30

場 所 事務局特別会議室

出席者 別紙のとおり

議 題

1. 平成26年4月1日付け教員採用人事の公募条件等について

(議題1の別紙)

理事(企画・教育研究・附属学校担当)から、特別支援教育講座及び教職実践講座(教職大学院)の平成26年4月1日付け採用に係る公募条件等について、資料に基づき説明があった。

○特別支援教育講座の公募条件等について

審議の結果、一部字句の誤りを修正のうえ、了承した。

○教職実践講座の公募条件等について

評議員から、以下のような意見等があった。

- ・博士の学位取得見込み者に、それを証明する書類の提出を求めることの記載が必要。
- ・2. 応募資格(3)において「望ましい」とされる事項が今までの公募条件より多く記されており、教員としての実績の項目とそれ以外の項目とは性質にも差があるようだが、全て同じレベルで必要なのか。
- ・「運転免許を持っている者」が望ましいとするのは、どのような理由か。
- ・「望ましい」条件に、「…の実績がある人材を求めています」という記載は矛盾する。
- ・「現場派遣コースの授業」とはどのようなものか分かりづらい。

教職実践講座から、以下のような説明があった。

教職実践講座においては、実習指導などで附属学校を始めとした学校現場へ赴くことが多く、公用車を利用した出張ができたほうが、本人が便利である。(3)のいずれの事項も、必須条件ではないが、既に計画している平成26年4月以降の業務を理解し、従事してもらうためには、採用前に説明しておくべきとの考えで記載している。

審議の結果、博士の学位取得見込み者に、それを証明する書類の提出を求めることを追加し、2.(3)は(2)のなお書きとし、記載事項のうち、運転免許に関する条件は、「自動車運転免許を持っている者(学校現場への訪問のため)」に修正し、「主として…の実績がある人材を求めています。」の記述は削除する。担当授業についての要望は、3.(4)担当予定科目の説明として記載する。その際、「現場派遣コース」の記述は、「派遣された現職教員のコース」に修正する等とし、了承した。

2. 「ミッションの再定義」について

(議題2の資料)

学長から、「ミッションの再定義」における修正案提出後、その実現に当たり本学が検討すべき事項について、資料に基づき説明があった。

評議員から、以下のような意見等があった。

- ・教職大学院の増強について、教育科学専攻から教員の移籍を求めるのは難しいのではないかと。移籍を伴わずに、授業応援をする協力体制を作る方がよいのではないかと。
- ・学長の説明にあった修士課程の決定的な改革とは何か。

理事（企画・教育研究・附属学校担当）から、教職大学院の学生定員増を文部科学省に求められており、検討しなければならないが、教職大学院では、現状においても教育実習を指導するための教員数が不足していると言われていたことから、学生の実践力を強化するためには、教員の人的増強が必要と考えている旨、発言があった。

学長から、修士課程の改革案として、現在の教育科学専攻は、二次募集により定員を満たしている状況があることから、教育科学専攻の学生定員を教職実践専攻へシフトする、教育科学専攻に現在大学院に関わっていない教員を中心に新しい領域を作る等があり得る旨、発言があった。

監事から、以下のような意見等があった。

本学の教育の質向上においては、スタンダードの実行とe-ポートフォリオを用いた検証が必要と考えるが、どのように進めているか。目標達成の評価は、学生本人と指導教員の間だけのチェックでは不十分ではないかと考えられるので、今後の検討事項としてほしい。

審議の結果、継続して審議することとした。

その他

1. 国立教育政策研究所長による講演会について

学長から、国立教育政策研究所長を講師に招き、教員養成の改善等の最新研究の紹介、及び本学の教育・研究における取り組むべき課題等に関する講演会を実施することについて、報告及び出席依頼があった。

2. 次回の開催日程について

次回の会議を、平成25年9月20日（金）14：30～、事務局特別会議室で開催することとした。

説明資料等

- 議題 1 の別紙 1 ・ 教員採用の公募条件について（依頼） 特別支援教育講座
- 議題 1 の別紙 2 ・ 教員採用の公募条件について（依頼） 教職実践講座（教職大学院）
- 議題 2 の資料 ・ ミッション再定義における修正案提出後の検討事項について
- ・ ミッション再定義に本文（平成25年7月16日修正提出）
- ・ 別途提出資料

- その他 1 の資料 ・ 本学教職員を対象とした講演会の講師依頼について（お願い）